

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年5月19日(2005.5.19)

【公表番号】特表2004-508366(P2004-508366A)

【公表日】平成16年3月18日(2004.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2004-011

【出願番号】特願2002-525134(P2002-525134)

【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 209/34

A 6 1 K 31/404

A 6 1 K 31/4184

A 6 1 K 31/4196

A 6 1 K 31/4245

A 6 1 K 31/454

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 29/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00

C 0 7 D 401/12

C 0 7 D 403/12

C 0 7 D 487/04

【F I】

C 0 7 D 209/34

A 6 1 K 31/404

A 6 1 K 31/4184

A 6 1 K 31/4196

A 6 1 K 31/4245

A 6 1 K 31/454

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 29/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 D 401/12

C 0 7 D 403/12

C 0 7 D 487/04 1 3 9

【手続補正書】

【提出日】平成15年7月23日(2003.7.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

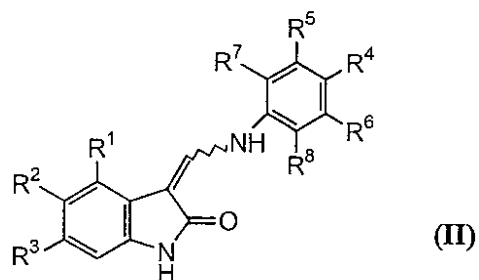
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式II:

【化 1】



[式中、

R^1 は水素であり、

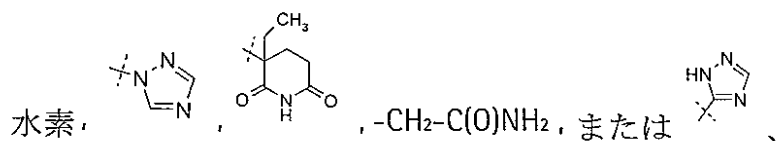
R^2 は水素であるか、

または場合により R^1 及び R^2 は結合してトリアジン環である縮合環Hetを形成し、

R^3 は水素であり、

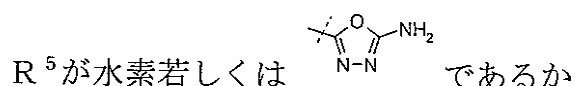
R^4 は

【化 2】



からなる群から選択されるものであり、

【化 3】



または場合により R^4 及び R^5 は結合して縮合環である尿素環を形成し、そして R^6 、 R^7 、及び R^8 は水素である。]

で示される化合物、またはその塩、溶媒和物、もしくは生理学的機能性誘導体。

【請求項 2】

5- { [(Z)-(2-オキソ-1,2-ジヒドロ-3H-インドール-3-イリデン)メチル]アミノ } -1,3-ジヒドロ-2H-ベンズイミダゾール-2-オン、

(3Z)-3- { [4-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)アニリノ]-メチレン } -1,3-ジヒドロ-2H-インドール-2-オン、

3-エチル-3-(4- { [(Z)-(2-オキソ-1,2-ジヒドロ-3H-インドール-3-イリデン)メチル]アミノ } フェニル)-2,6-ピペリジンジオン、

(8Z)-8- { [3-(5-アミノ-1,3,4-オキサジアゾール-2-イル)アニリノ]メチレン } -6,8-ジヒドロ[1,2,3]トリアゾロ[4,5-e]インドール-7(3H)-オン、

2-(4- { [(Z)-(2-オキソ-1,2-ジヒドロ-3H-インドール-3-イリデン)メチル]アミノ } フェニル)アセトアミド、及び

(3Z)-3- { [4-(1H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)アニリノ]メチレン } -1,3-ジヒドロ-2H-インドール-2-オン、

からなる群から選択される化合物、またはその塩、溶媒和物、もしくは生理学的機能性誘導体。

【請求項 3】

治療的有効量の請求項 1 もしくは 2 に記載の化合物、またはその塩、溶媒和物、もしくは

は生理学的機能性誘導体と、１種以上の製薬上許容し得る担体、希釈剤及び賦形剤を含有する医薬組成物。

【請求項４】

治療に使用するための請求項１もしくは２に記載の化合物、またはその塩、溶媒和物、もしくは生理学的機能性誘導体。

【請求項５】

不適切なTrkA活性によって仲介される障害の治療に使用するための医薬の製造における、請求項１もしくは２に記載の化合物、またはその塩、溶媒和物、もしくは生理学的機能性誘導体の使用。

【請求項６】

不適切な分裂促進因子活性化型キナーゼ活性によって仲介される障害の治療に使用するための医薬の製造における、請求項１もしくは２に記載の化合物、またはその塩、溶媒和物、もしくは生理学的機能性誘導体の使用。